うさぎ組だより　7月

尚徳福祉会　とちょう保育園

例年になく遅い梅雨入りの今年。登園時におうちの方とお話ししてくるのでしょうか、子どもたちは「雨がたくさん降っていたよ」「雨降ってないからお散歩いけるね」など、お話ししてくれます。急に気温が高くなり、室内での活動が中心になってくるこの季節。今年は都民広場にベンチや芝生が出ており、日陰を見つけながら水や氷に触れひんやり気持ち良い遊びなど上手に活用して楽しめたらと思っています。少しでも快適に楽しく過ごせるよう工夫していきたいと思います。

7月の目標

●保育士や友だちに親しみを持ち、自ら関わろうとする。
「いれて」「一緒に遊ぼう」など、関わりの際に必要な言葉に興味を持ち、安心して遊べる環境を整えていきます。

●簡単な身の回りのことに興味を持ち、自分でやってみようとする。
「自分で！」と頑張ろうとする気持ちを大切にしていきます。たくさん褒められ、認められていく中で、自信を持てるようになればと思っています。

●今月の歌♪「たなばたさま」「きらきら星」季節を感じながら、楽しんでいきます。

「食べられたよ！」

うさぎ組では、食育としてそら豆の皮むき、枝豆の豆取りを楽しみました。始める前に「そらまめくんのベッド」や「そらまめくんとおまめのなかま」などの絵本を見たり、本物の落花生を触って「かたい！」とびっくりしたりして、当日を楽しみに待ちました。実際に食材に触れると、そらまめは「冷たいね」「大きいよ」「なんだか匂いがする」、枝付き枝豆は「葉っぱがついてる！」「とれないよー（力がいりました）」など思い思いに感じたことを伝えてくれています。調理さんの手によって、美味しい豆ごはんになって出てくると、食材に触れたことを思い出し、お話してくれる子の姿もありました。体験を通していつもは苦手な物も「1 つ食べてみよう！」と心が動く子どもたちの様子が見られました。今後、とうもろこしやピーマンなどに触れる機会を設けられたらと考えています。

ありがとうございました！

先日はお忙しい中、保護者会にご参加いただき、ありがとうございました。保護者の皆様の交流や、日頃の保育の思いについて知っていただく良い機会となっていれば幸いです。今後も何か気になることがありましたら、お気軽に職員にお声掛けください。

うさぎ組のあんな場面、こんな場面

☆お昼ご飯で・・・「にんじんを食べるとお肌つるつるになるのよ」とお話すると、Ａちゃんがぱくっと人参をお口にいれてもぐもぐ。自分のほっぺを触って「つるつるだよ！」とにっこにこ。「おんま（馬）もにんじん食べるからつるつるだよ！」「ぞうもだよ」「たぬきもじゃない？」とお友だちと楽しいおしゃべりに花が咲くのでした。

☆遊びの場面で・・・お友だちと一緒に人差し指と親指を動かし、ぱくぱくと食べるフリをしていたＫ君とＫ君。乗り物図鑑なのに？と覗いてみると、キッチンカーの写真でした！ホットドックとジュースの小さな写真を２人で食べながら微笑みあう姿にほっこりしました。

☆お散歩で・・・都庁と中央公園を結ぶ、みどりの橋を彩っていたツツジを見て「ピンクのお花、花火みたいね！」とＳちゃん。表現力の豊かさにどきっ！
枯れてしまうと「ピンクのお花、枯れちゃったねえ…」としみじみ言うのでした。